

# 令和5年由布市観光動態調査結果について

令和6年6月4日

由布市商工観光課

## 1. 調査対象期間

令和5年1月～12月の1年間

## 2. 調査結果の概要

令和5年の観光客総数は、4,042,428人であり、前年（令和4年）と比較して726,772人増加（前年3,315,656人）となった。また日帰り・宿泊別では、日帰り客が2,653,016人（前年2,042,637人）、宿泊客が1,389,412人（前年1,273,019人）といずれも増加した。

日本人観光客・外国人観光客別でみると、日本人観光客の前年比は日帰りで93.08%（平成30年比67.05%）、宿泊で95.1%（平成30年比150.42%）となった。新型コロナウイルスが令和5年5月8日に5類感染症に移行されたこともあり、回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準までには戻り切れていない状況にある。

また、外国人観光客数の平成30年比は日帰りで117.96%、宿泊で107.82%であり、新型コロナウイルスに対する水際対策の緩和及び円安の影響により外国人観光客は過去最高となった。国別の比率は、半数程度を占める韓国をはじめ、台湾・香港・タイなどアジア圏が全体の8割強を占めるものの、欧米豪も1割程度と増加傾向であった。

発地別観光客数は、九州・沖縄地方（大分県内含）からの来訪者のみ減少という結果になったが、これは、令和4年9月に西九州新幹線が開業したことによる長崎方面への来訪者が増加したことが一因として考えられる。

コロナ禍前の平成30年との全体の比較では、日帰りで77.15%、宿泊で141.35%となり、日帰りにおいては特に団体旅行の減少が影響していると考えられる一方で、宿泊においては、大分県が実施した観光需要喚起策があったことが影響し、好調が続く結果となった。